



トルコ家電産業勉強会



近年、日系企業の進出が相次ぎ、有力新興国として注目を集めているトルコ。7,000万人を超える人口を有し、うち30歳までが半数を占めるなど若年人口が豊富なことや、欧州・中東・北アフリカ・中央アジア等の中間に位置する地理的優位性などが一大消費市場として、また製造業の生産拠点としてトルコの魅力となっています。

今回大阪府では、ものづくりの国・トルコの主要産業のうち、特に「家電産業」に焦点をあてた勉強会を開催いたします。現地から専門家を招聘し、トルコにおけるものづくりの実態や現地での課題、そして家電産業の現状や将来について掘り下げ、大阪企業のビジネスチャンスを探っていきます。

本勉強会は、トルコにおける家電産業の最新情報を入手していただく絶好の機会です。ぜひご参加ください。

【内容】 (1) トルコ共和国の経済政策について

講師 トルコ共和国大使館 商務部 一等商務参事官 ムサ・デミル氏

(2) トルコにおける製造業の実態について

講師 イスタンブール産業会議所 役員 サドック・アイハン・サルハン氏

(3) トルコ家電産業の現状、課題、将来について

講師 ヴェステル社 輸出地域部長 アビディン・ヴォルカン・カラチャル氏
白物家電 研究開発ディレクター ハリル・トゥラン氏

(4) 大阪府トルコビジネスミッションについて

【日時】 平成26年11月19日（水） 14:00～17:00（13:30受付開始）

【会場】 マイドームおおさか8階 第6会議室（大阪市営地下鉄堺筋線・中央線「堺筋本町」駅 12番出口から 徒歩6分）

【定員】 50名（参加費無料・先着順）

【主催】 大阪府、大阪・海外市場プロモーション事業推進協議会（大阪府、大阪市、大阪商工会議所、（公財）大阪産業振興機構、（一財）大阪国際経済振興センター）

【後援】 トルコ共和国大使館商務部、独立行政法人日本貿易振興機構大阪本部、
独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部

【問合せ先】 大阪府 商工労働部 成長産業振興室 立地・成長支援課 国際経済交流促進グループ
（担当 南浦・大村）

電話：06-6210-9502 ファックス：06-6210-9481 メール：kokusaikeizai@gbox.pref.osaka.lg.jp

【申込】 セミナー申込URL（<http://www.pref.osaka.lg.jp/keizaikoryu/event/turkey.html>）、
又はファックスにてお申込ください。

【申込締切】 平成26年11月17日（月）

★本事業は、平成27年2月開催予定の「トルコビジネスミッション」の事前勉強会を兼ねています。このミッションでは、現地経済団体・企業への大阪一丸となったPRを通じて、今後のビジネス案件の形成をめざします。

-----「トルコ家電産業勉強会」申込用紙-----

大阪府 立地・成長支援課 宛（ファックス：06-6210-9481）

締切日：11月17日（月）

貴社名		役職	
住所	〒		
お名前(フリガナ)	()		
メールアドレス		電話番号	

※申込者の個人情報につきましては、主催・共催団体間で共有しますが、それ以外の第三者に開示することはありません。

なぜトルコで家電なのか？

◆トルコ概況◆

- 【人口】 7,667 万人。うちイスタンブール 1416 万人、アンカラ 505 万人(2013 年)。
- 【首都】 アンカラ
- 【宗教】 イスラム教(99%)、世俗主義(政教分離体制)
- 【名目 GDP】 欧州では 9 位、中東ではサウジアラビアを上回って首位。
- 【外交】 NATO 加盟国。2005 年から EU 交渉開始。

～トルコ市場の魅力～

✓圧倒的な地理的優位性

欧州・中東・北アフリカ・中央アジア等の主要市場の中間に位置していることや、EU と関税同盟を締結していることから、多くの外資系企業がトルコに生産・輸出・販売拠点を設立するなど、地域のハブとして機能。

✓豊富な若年人口

一人当たり GDP が 1 万ドルを超えている国の中で、6 番目の人口大国であることに加え、人口年齢中位数(人口を二等分する境界点の年齢)は 30.4 歳。人材の豊富さに加え、層の厚い消費者が台頭する可能性あり。

✓旺盛な購買意欲

民間消費が GDP 全体の約 7 割を占めるなど、内需主導による経済成長が著しく、消費大国・成長市場としての存在感を見せる。

✓歴史的な親日国

エルトゥールル号遭難事件(1890 年)、トルコ航空邦人救出事件(1985 年 3 月)等に象徴されるように、トルコは日本と 100 年以上にわたる良好な関係を築いてきた友好国家。トルコは日本がビザを課さない数少ない国のひとつ。

～台頭するトルコ家電産業～

✓主要産業としての家電分野

ものづくりの国・トルコの中でも、大きな地位を占める家電産業。中でも、同国 2 大家電メーカーであるアルチェリック社、ヴェステル社はそれぞれトルコ製造業ランキングの 4 位、14 位に位置するなど、主要産業の一つとして確固とした地位を築いている。

✓周辺国への家電供給地・トルコ

欧州・近隣諸国(北アフリカ、中東、中央アジア)への白物家電、テレビの輸出基地としての地位を誇り、主要家電 6 種の生産台数は、'13 年約 2190 万台で過去最高。'14 年は 4% 増の見通しなど、同国で生産された家電が世界各国へ輸出されている。

【参考 1: ヴェステル社概要】

・トルコ製造業ランキング 14 位、トルコ輸出企業ランキング 4 位。世界消費財企業ランキング 183 位。

・2013 年売上高約 4,000 億円、8 割は 他社への OEM 供給。輸出先 146 カ国。

・2014 年は前年比 1 割増の 31 億ドル輸出計画、うち 7 割が欧州、ロシア向け・欧州でのテレビのシェアは約 2 割。シェア 3 割超のサムソンに次いで 2 位。

【参考 2: イスタンブール産業会議所】

設立 1952 年。2014 年時点で、17,000 会員。トルコを代表する産業会議所。トルコの「製造業トップ 500」を発行。

